

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	小和田地区	令和5年3月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	31.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	16.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	11.6ha
i うち後継者不在の農業者の耕作面積の合計	2.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.7ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.7ha
（備考）	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・宅地化が進んでおり、商工業と農業の両立を図る必要がある。 ・農作業に対する苦情が多く、効率化な作業の妨げになっている。 ・良質な米の生産地であるが、生産量が少ないため、ブランド化が困難。 ・担い手へ耕作委託する水田の所有者が多い。こまめな水管理が困難なため、かけ流しが多く、下流域で水不足が発生する。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・経営拡大が可能な水田作の担い手が複数いるため、これらの担い手に集約する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<ul style="list-style-type: none"> ・水田作で、高齢や後継者不在で離農を検討する者がいた場合は、担い手に斡旋する。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の農産物を販売する場が地区内に無いため、検討を行う。